



## 2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営本部IR広報部長 (氏名) 根本 洋

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

2019年9月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	72,023	1.5	7,305	6.4	8,053	3.0	5,537	7.7
2018年12月期第2四半期	73,148	3.4	7,801	11.3	8,299	11.5	5,998	8.9

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 5,180百万円 (36.1%) 2018年12月期第2四半期 3,807百万円 (52.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	42.07	
2018年12月期第2四半期	45.57	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	244,118	194,213	77.6
2018年12月期	241,164	191,296	77.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 189,536百万円 2018年12月期 186,419百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		14.00		14.00	28.00
2019年12月期		15.00			
2019年12月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年12月期の第2四半期末配当の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 1円00銭  
2019年12月期(予想)の期末配当の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 1円00銭

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	0.7	16,000	2.5	17,000	2.3	11,700	8.2	88.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	131,996,299 株	2018年12月期	131,996,299 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	369,199 株	2018年12月期	366,613 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	131,628,536 株	2018年12月期2Q	131,633,379 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
3. その他 .....	11
役員の異動 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (ア) 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年6月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境は着実に改善しましたが、輸出や企業収益の見通しが弱含みに転じたことなどから景気の先行きに対する警戒感が高まりました。また、世界経済は、米中貿易戦争や英国のEU離脱の方向性が定まらず、不透明感が、なお一層、強まりました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、国内需要は底堅く推移しましたが、世界経済の不透明感の強まりから携帯端末や半導体製品などのエレクトロニクス関連製品の販売や輸出に陰りが見られました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は720億2千3百万円（前年同期比1.5%減収）、営業利益は73億5百万円（前年同期比6.4%減益）、経常利益は80億5千3百万円（前年同期比3.0%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億3千7百万円（前年同期比7.7%減益）となりました。

#### (イ) セグメント別の業績

##### ①基幹化学品事業

電解製品は、昨年実施したカセイソーダ、次亜塩素酸ソーダなどの販売価格は正が寄与し増収となりました。アクリルモノマー製品は、国内販売は堅調でしたが、シンガポール子会社における一部製品の販売終息の影響から減収となりました。工業用ガスは、販売数量が減少し減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は326億9千2百万円（前年同期比3.5%減収）となりました。

営業利益は、カセイソーダなどの販売価格更正の効果やアクリルモノマーの固定費が減少したことなどから、28億5百万円（前年同期比3.6%増益）となりました。

##### ②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、リチウムイオン二次電池向け製品の増販などから増収となりました。アクリルオリゴマーは、国内の販売が堅調に推移し増収となりました。高分子凝集剤は、国内では販売価格の是正を行いました。輸出の減少などが影響し減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は145億6千6百万円（前年同期比0.2%増収）となりました。

営業利益は、減価償却費などの固定費負担が増加しましたが、アクリルポリマーやアクリルオリゴマーの増販、高分子凝集剤の価格は正などが増益に寄与し、19億2千2百万円（前年同期比11.0%増益）となりました。

##### ③接着材料事業

瞬間接着剤は、国内販売はほぼ前年並みで推移しましたが海外市場における製品販売の減少などから減収となりました。機能性接着剤は、高機能情報端末などに使用される反応型接着剤の需要減少が続いたことなどから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は54億7千5百万円（前年同期比6.4%減収）となりました。

営業利益は、機能性接着剤や海外における瞬間接着剤の減販のほか、固定費負担が増加したことなどから、7億5千7百万円（前年同期比40.3%減益）となりました。

##### ④高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、半導体向けの需要に減速感は見られるものの液化塩化水素などの高純度無機製品の販売は堅調に推移し増収となりました。無機機能材料は、無機抗菌剤の輸出減少等が影響し減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は41億1千3百万円（前年同期比2.2%増収）となりました。

営業利益は、高純度無機化学品の増販は収益に寄与しましたが、設備投資に伴う減価償却費の増加などが利益を圧迫し、11億9千7百万円（前年同期比9.1%減益）となりました。

## ⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品は、販売価格の是正が進みましたが販売数量が減少し減収となりました。建材・土木製品は、受注物件が増加し増収となりました。ライフサポート製品は、新製品の投入効果などから増収となりました。エラストマーコンパウンドは、一部製品の販売数量が減少したことから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は132億8千5百万円（前年同期比0.2%増収）となりました。

営業利益は、建材・土木製品やライフサポート製品は増益となりましたが、エラストマーコンパウンドの減販や固定費増加などが影響し、5億7千9百万円（前年同期比13.9%減益）となりました。

## ⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は18億8千9百万円（前年同期比18.0%増収）、営業利益は3千5百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債および純資産の状況

資産合計は、建設仮勘定の増加により有形固定資産の「その他」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ29億5千4百万円、1.2%増加し、2,441億1千8百万円となりました。

負債合計は、「支払手形及び買掛金」が減少しましたものの、未払金の増加により流動負債の「その他」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ3千7百万円、0.1%増加し、499億4百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ29億1千7百万円、1.5%増加し、1,942億1千3百万円となり、自己資本比率は77.6%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産および法人税等の支払額が増加しましたため、前年同期に比べ収入が10億7千1百万円減少し、131億4百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が増加しましたため、前年同期に比べ支出が11億6千万円増加し、81億4千8百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に発生した連結子会社株式の取得による支出が当第2四半期連結累計期間に発生しなかったため、前年同期に比べ支出が8億1千4百万円減少し、21億4千5百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は476億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億8千6百万円の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易戦争長期化の影響などから景気減速感が強まりました。また、わが国経済は、海外経済の動向に大きく左右される展開となりました。

当期後半につきましては、わが国経済は、10月に予定される消費税増税や日米をはじめとした通商交渉の行方などが懸念材料となります。また、世界経済は、米中貿易戦争や欧州経済の動向など先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような事業環境の中、当社グループは、製品の需給バランスや原燃料価格の変動に柔軟に対処するとともに、省力化投資や生産性向上に継続的に取り組み、業績の維持、向上に努めます。また、引き続き高付加価値製品の開発に経営資源を重点的に投入することで事業拡大のスピードアップを図り、米国やタイなどにおける海外事業の収益改善を速やかに進めてまいります。なお、2019年12月期通期の連結業績は前回発表（2019年2月13日）を下回るものと予想しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,676	36,386
受取手形及び売掛金	45,154	41,245
有価証券	46,000	44,000
たな卸資産	16,541	17,907
その他	1,531	1,362
貸倒引当金	△39	△35
流動資産合計	141,866	140,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,740	20,886
機械装置及び運搬具（純額）	23,624	22,727
土地	17,240	17,548
その他（純額）	5,478	9,802
有形固定資産合計	67,083	70,964
無形固定資産		
	640	642
投資その他の資産		
投資有価証券	27,792	27,423
退職給付に係る資産	1,514	1,649
その他	2,280	2,587
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	31,573	31,645
固定資産合計	99,297	103,252
資産合計	241,164	244,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,472	14,832
短期借入金	2,503	2,503
未払法人税等	2,864	2,256
引当金	19	18
その他	12,987	15,000
流動負債合計	34,847	34,610
固定負債		
長期借入金	9,189	9,110
退職給付に係る負債	153	151
その他	5,677	6,032
固定負債合計	15,020	15,294
負債合計	49,867	49,904
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,499	16,402
利益剰余金	139,682	143,377
自己株式	△296	△299
株主資本合計	176,771	180,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,307	7,994
為替換算調整勘定	1,617	1,425
退職給付に係る調整累計額	△277	△249
その他の包括利益累計額合計	9,647	9,169
非支配株主持分	4,876	4,676
純資産合計	191,296	194,213
負債純資産合計	241,164	244,118

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	73,148	72,023
売上原価	52,732	51,687
売上総利益	20,415	20,336
販売費及び一般管理費	12,614	13,030
営業利益	7,801	7,305
営業外収益		
受取利息	40	56
受取配当金	425	588
持分法による投資利益	141	140
為替差益	—	33
固定資産賃貸料	131	133
その他	82	114
営業外収益合計	820	1,067
営業外費用		
支払利息	46	47
為替差損	153	—
環境整備費	57	195
遊休設備費	32	25
その他	32	51
営業外費用合計	322	319
経常利益	8,299	8,053
特別利益		
補助金収入	323	9
投資有価証券売却益	—	5
固定資産売却益	5	3
特別利益合計	329	18
特別損失		
固定資産処分損	50	28
特別損失合計	50	28
税金等調整前四半期純利益	8,578	8,043
法人税等	2,445	2,360
四半期純利益	6,132	5,682
非支配株主に帰属する四半期純利益	134	144
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,998	5,537

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	6,132	5,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,058	△313
為替換算調整勘定	△287	△216
退職給付に係る調整額	20	27
その他の包括利益合計	△2,325	△502
四半期包括利益	3,807	5,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,704	5,059
非支配株主に係る四半期包括利益	102	120

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,578	8,043
減価償却費	3,874	4,559
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△2
その他の引当金の増減額(△は減少)	4	△1
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△131	△95
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	△1
受取利息及び受取配当金	△465	△644
支払利息	46	47
為替差損益(△は益)	133	△35
持分法による投資損益(△は益)	△141	△140
固定資産売却損益(△は益)	△5	△3
補助金収入	△323	△9
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△5
固定資産処分損益(△は益)	50	28
売上債権の増減額(△は増加)	1,964	3,861
たな卸資産の増減額(△は増加)	296	△1,402
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,015	△1,613
その他	2,339	2,639
小計	15,211	15,222
利息及び配当金の受取額	594	777
利息の支払額	△53	△54
補助金の受取額	323	9
法人税等の支払額	△1,899	△2,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,176	13,104
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	152	897
投資有価証券の取得による支出	△4	△23
投資有価証券の売却による収入	—	5
有形固定資産の取得による支出	△6,609	△8,313
有形固定資産の売却による収入	18	3
その他	△545	△717
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,988	△8,148
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	3,700	—
長期借入金の返済による支出	△4,079	△79
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△679	—
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△3	△3
リース債務の返済による支出	△26	△87
配当金の支払額	△1,711	△1,847
非支配株主への配当金の支払額	△159	△128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,959	△2,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	△127	△123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,100	2,686
現金及び現金同等物の期首残高	42,136	44,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,237	47,677

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹 化学品 事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	33,887	14,531	5,849	4,023	13,253	71,546	1,602	73,148	—	73,148
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,033	579	128	22	10	2,773	2,330	5,104	△5,104	—
計	35,921	15,110	5,977	4,045	13,264	74,320	3,932	78,252	△5,104	73,148
セグメント利益	2,709	1,731	1,270	1,316	673	7,700	95	7,796	5	7,801

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹 化学品 事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	32,692	14,566	5,475	4,113	13,285	70,134	1,889	72,023	—	72,023
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,954	605	40	20	13	2,634	1,188	3,822	△3,822	—
計	34,646	15,172	5,516	4,133	13,299	72,768	3,078	75,846	△3,822	72,023
セグメント利益	2,805	1,922	757	1,197	579	7,262	35	7,298	7	7,305

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

### 3. その他

#### 役員の変動

2019年7月31日(水)をもって監査等委員である取締役が辞任により退任いたします。本日開示しました「監査等委員である取締役の辞任に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上